

2024年11月20日

第66回エフエムななみ 番組審議会 議事録

1. 開催日時

2024年11月20日(水)15時30分～16時30分

2. 開催場所

西尾張シーエーティーヴィ株式会社 2階スタジオ

3. 出席者(敬称略)

番組審議会委員：浅井厚視、加藤憲治、高阪美帆、前田英俊、牛田ゆかり(伊藤義幸 代理)、
伏見友梨香、横井宗宣、吉田大翔(丹羽修治 代理)

以上8名

放送事業者：中野治也、小山典孝、大橋司(記)

4. 議 事

(1)中野代表取締役社長よりエフエムななみ挨拶

- ・日頃より、地域のイベントや行事などの情報を海部津島地域5万世帯以上に発信しているが、今後はコンテストで受賞出来る様な番組作りにチャレンジしていきたい。例えば、津島神社や津島高校の歴史や成り立ちなどを紹介するドキュメンタリー番組を作ると皆さんに興味を持っていただけるのではと考えている。

エフエムななみの送信アンテナを、蟹江町から愛西市に移設した。蟹江町にアンテナがあった時は、災害時に緊急放送を実施するための演奏所が備えてあった。現在のアンテナ設置場所である愛西市にはスペースの関係から演奏所を備えていないが、災害時は、局から機材を持ち出せば問題なく緊急放送を実施出来る事が確認出来た。社内のBCPで、エフエムななみの放送は発災から半日以内に復旧する様取り決めたが、災害があった際は機材を持って愛西市のアンテナ設置場所に向かい緊急放送を実施する様段取りを進めている。

(2)委員長開会挨拶

- ・秋のイベントシーズンが終わりに近づいている。学校ではこの時期、社会科見学を行っているがエフエムななみも利用していただけると良い。津島市の学校も去年はエフエムななみにお世話になった。今一番大事なのは災害対応だが、各自治体の災害担当者との連絡も必要になって来る。

(3)報告事項

- ①第65回審議会(9月18日開催)での報告

- ・資料に基づき報告

→中日新聞社の情報発信アプリ「ローカル」について、前回の時点では自治体様の参加は津島市のみだったが、現在では殆どの自治体に参加している(事務局)

②エフエムななみ活動報告

- ・資料に基づき報告

→舟入小学校の社会科見学では、児童はどの様に移動しているのか(浅井)

→マイクロバスでまとまって移動している(事務局)

→昨年からは番組作りだけではなく、中学生を対象にスマホ修理も社会科見学のメニューに加えている(事務局)

④緊急放送・緊急対応について

- ・期間内の放送および対応無し

(4)番組試聴

「2024年 尾張津島秋まつり」

■放送日時

- ・10月6日(日)

- ・10:10～11:30 [神守支所]

- ・12:30～17:10 [津島～天王通り～津島神社]

- ・18:50～19:30 [池須通り]

→昔の秋まつりの様子や祭の成り立ち、祭関係者に焦点を当てるもの良い。夜の一斉総車切を上から俯瞰で撮影したり、神楽の様子を盛り込むのも良い(前田)

→岡崎で歴史を生かしたまちづくりに携わった。その経験から、長らく続いている祭の記録を残す事はとても大事だと感じたので、これからも映像を残していただきたい。子どもを巻き込むとその家族に見ていただけるため、その様な番組作りをするとう良い(牛田)

→ライブ映像だけでなく、当日を迎えるまでの取り組みなど、祭の裏側を見せたり、ドローン映像も目を惹くので良いのでは(伏見)

→番組の紹介はどの様に行ったのか？SNSはとても効果があると思う(横井)

→ポスター掲示や、メール発送、TVやラジオからの告知を行った。SNS発信は、インスタ、Xからカウントダウン方式で発信を行った(事務局)

→毎年開催する祭のためどこが盛り上がるのかが分かるはず。盛り上がるポイントのみに絞った番組作りを行うと良い。また、全体が映る引きの映像や、来場者のインタビュー映像も盛り込むと良い(吉田)

→ひとつの映像が長く続くと飽きる。細かく切って繋ぐと飽きが来ないのでは。また、当日の様子の間際に、祭を運営する裏方の皆さんの話を盛り込むと、飽きずに

見られるのでは。「提灯を付けた山車が魅せる一瞬の美しさ」など、場面毎の惹きつけられる写真を組み合わせてSNS発信すると良い。若者は映像を「長く見る」より「ぱっと見る」傾向である(高阪)

→今年は6日に現地で祭を見たが、外国人が多かった。北町、南町はどこの山車なのかなど、解説があると良い。当日に雨が降った場合や、傷病者が出た場合の対策もしっかりと行っておくと良い(加藤)

→津島神社は再来年で国幣小社への昇格から100周年である。その記念として、津島神社の歴史や、全国3,000社の分社の話題を交えた番組作りも良い。また、元愛西市学芸員の石田さんが現在は津島神社に関わっている。石田さんなどを交えた制作委員会を作り企画すると良い。秋まつり中継について、暑い季節に外へ出かけるのは億劫なため、テレビを通して祭を見るという方は少なくない。また、現在の様子と昔の様子を織り交ぜた番組作りも面白いのでは(浅井)

5. 2024 年度 番組審議会開催日程について

- ・エフエムななみ番組審議会(年 6 回：5/22、7/17、9/18、11/20、1/22、3/19)
- ・クローバーTV番組審議会(年 2 回：9/18、3/19)

※次回開催日程

- ・第 69 回クローバーTV/第 67 回エフエムななみ 番組審議会：1 月 22 日(水)予定

以上